

書 写

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	書写 701	A B 146	令和2年
15	三省堂	三省堂◆	書写 702	B 5 130	
17	教育出版	教 出◆	書写 703	A B 146	
38	光村図書	光 村	書写 704	B 5 158	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

都立 白鷗高等学校附属中学校 書写 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
内 容	日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	☆☆ 10 ☆	8 ☆☆☆☆	15 ☆	8
	世界の文字・言語を扱っている箇所数	☆☆☆☆ 3 ☆	2 ☆	2 ☆☆☆☆	3
	「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆ 8 ☆	7 ☆☆☆☆	8 ☆	7
	「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	☆ 8 ☆	8 ☆☆☆☆	11 ☆	7
	「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数	☆ 4 ☆	3 ☆☆☆☆	7 ☆☆	5
	「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆ 3 ☆	2 ☆	2 ☆	2
	「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆ 5 ☆	2 ☆	2 ☆☆☆	4
発展的な内容を取り上げている箇所数	☆ 1 ☆	2 ☆☆☆☆	5 ☆	1	
構成上の工夫 その他	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・学習の進め方を「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返って話そう」、「生活に広げよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「目標を確かめよう」、「書き方を学ぼう」、「見つけよう・考えよう」、「毛筆で書こう」、「学習を振り返ろう」、「書いて身につけよう」、「自分の言葉でまとめよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。
	・「小学校の学習を振り返ろう」という内容を設定し、「姿勢と筆記具の持ち方」、「字形と配列を整える書き方」、「基本の点画の書き方」、「自分の書き方を見直そう」について確かめることができる。 ・「書写活用ブック」として、「さまざまな書式」、「行書の部分の形」、「常用漢字表」、「人名用漢字表」等の資料を掲載している。 ・各学年に「文字のいずみ」として、「いろは歌」等(第1学年)、「文字と絵」等(第2学年)、「仕事の中の手書き文字」等(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料等を掲載している。	・「基礎編」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「資料編」として、「便箋と封筒の書き方等の書式」等、「文房四宝」、「楷書・行書一覧表」、「平仮名・片仮名・数字・アルファベット」、「毛筆補充教材」、「書き方を学ぼう」一覧等の資料を掲載している。 ・各学年に「学びを広げる」として、「活字と手書き文字・筆順」等(第1学年)、「部分別行書一覧表」(第2学年)、「書の古典」(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料等を掲載している。	・「姿勢と用具の使い方」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片付け」について確かめることができる。 ・「学習内容を効果的にノートに書こう」、「書式の教室」、「書写テストで確認」、「情報を整理して、活動につなげよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「漢字一覧表索引」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を掲載している。 ・第1学年と第2学年に「コラム」として、「筆、墨、硯、紙について知ろう」等(第1学年)、「あの人が残した文字」等(第2学年)、それぞれの学年の学習内容に関連する資料を示している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、「書くときの姿勢」、「筆記具の持ち方」、「用具の準備」、「用具の片付け」、「字形の整え方(筆使い、字形、組み立て、配列、生活に生かす)」について確かめることができる。 ・「手紙の書き方」等、「常用漢字表」、「人名用漢字表」、「部分別行書一覧」、「片仮名・数字・アルファベット」等の資料を掲載している。 ・「書写ブック」として、楷書(「漢字の筆使い」等)、行書(「点画の変化」等)、書写テスト等の硬筆を練習する資料を掲載している。また、各学年に「コラム」として、「文字の歴史を探る」(第1学年)、「物語を千年書き継ぐ」(第2学年)、「UD書体って何だろう」(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料を掲載している。	
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	なし

都立 小石川中等教育学校 書写 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
	書く文字を生徒が選択する教材数	☆☆☆☆	3 ☆☆☆☆	3 ☆☆☆☆	3 ☆☆☆☆
	世界の文字・言語を扱っている箇所数	☆☆☆☆	3 ☆	2 ☆	2 ☆☆☆☆
	「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆	8 ☆	7 ☆☆☆☆	8 ☆
	「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	☆	8 ☆	8 ☆☆☆☆	11 ☆
	「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数	☆	4 ☆	3 ☆☆☆☆	7 ☆☆
	「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆	3 ☆	2 ☆	2 ☆
	「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆	5 ☆	2 ☆	2 ☆☆☆
	発展的な内容を取り上げている箇所数	☆	1 ☆	2 ☆☆☆☆	5 ☆
構成上の工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・学習の進め方を「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返って話そう」、「生活に広げよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「目標を確かめよう」、「書き方を学ぼう」、「見つけよう・考えよう」、「毛筆で書こう」、「学習を振り返ろう」、「書いて身につけよう」、「自分の言葉でまとめよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。
	その他	・「小学校の学習を振り返ろう」という内容を設定し、「姿勢と筆記具の持ち方」、「字形と配列を整える書き方」、「基本の点画の書き方」、「自分の書き方を見直そう」について確かめることができる。 ・「書写活用ブック」として、「さまざまな書式」、「行書の部分の形」、「常用漢字表」、「人名用漢字表」等の資料を掲載している。 ・各学年に「文字のいずみ」として、「いろは歌」等(第1学年)、「文字と絵」等(第2学年)、「仕事の中の手書き文字」等(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料等を掲載している。	・「基礎編」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「資料編」として、「便箋と封筒の書き方等の書式」等、「文房四宝」、「楷書・行書一覧表」、「平仮名・片仮名・数字・アルファベット」、「毛筆補充教材」、「書き方を学ぼう」一覧等の資料を掲載している。 ・各学年に「学びを広げる」として、「活字と手書き文字・筆順」等(第1学年)、「部分別行書一覧表」(第2学年)、「書の古典」(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料等を掲載している。	・「姿勢と用具の使い方」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片付け」について確かめることができる。 ・「学習内容を効果的にノートに書こう」、「書式の教室」、「書写テストで確認」、「情報を整理して、活動につなげよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「漢字一覧表索引」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を掲載している。 ・第1学年と第2学年に「コラム」として、「筆、墨、硯、紙について知ろう」等(第1学年)、「あの人が残した文字」等(第2学年)、それぞれの学年の学習内容に関連する資料を示している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、「書くときの姿勢」、「筆記具の持ち方」、「用具の準備」、「用具の片付け」、「字形の整え方(筆使い、字形、組み立て、配列、生活に生かす)」について確かめることができる。 ・「手紙の書き方」等、「常用漢字表」、「人名用漢字表」、「部分別行書一覧」、「片仮名・数字・アルファベット」等の資料を掲載している。 ・「書写ブック」として、楷書(「漢字の筆使い」等)、行書(「点画の変化」等)、書写テスト等の硬筆を練習する資料を掲載している。また、各学年に「コラム」として、「文字の歴史を探る」(第1学年)、「物語を千年書き継ぐ」(第2学年)、「UD書体って何だろう」(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料を掲載している。
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	なし

都立 両国高等学校附属中学校 書写 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
内 容	日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	☆☆ 10 ☆	8 ☆☆☆☆	15 ☆	8
	世界の文字・言語を扱っている箇所数	☆☆☆☆ 3 ☆	2 ☆	2 ☆☆☆☆	3
	「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆ 8 ☆	7 ☆☆☆☆	8 ☆	7
	「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	☆ 8 ☆	8 ☆☆☆☆	11 ☆	7
	「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数	☆ 4 ☆	3 ☆☆☆☆	7 ☆☆	5
	「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆ 3 ☆	2 ☆	2 ☆	2
	「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆ 5 ☆	2 ☆	2 ☆☆☆	4
発展的な内容を取り上げている箇所数	☆ 1 ☆	2 ☆☆☆☆	5 ☆	1	
構成上の工夫 その他	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・学習の進め方を「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返って話そう」、「生活に広げよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「目標を確かめよう」、「書き方を学ぼう」、「見つけよう・考えよう」、「毛筆で書こう」、「学習を振り返ろう」、「書いて身につけよう」、「自分の言葉でまとめよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。
	・「小学校の学習を振り返ろう」という内容を設定し、「姿勢と筆記具の持ち方」、「字形と配列を整える書き方」、「基本の点画の書き方」、「自分の書き方を見直そう」について確かめることができる。 ・「書写活用ブック」として、「さまざまな書式」、「行書の部分の形」、「常用漢字表」、「人名用漢字表」等の資料を掲載している。 ・各学年に「文字のいずみ」として、「いろは歌」等(第1学年)、「文字と絵」等(第2学年)、「仕事の中の手書き文字」等(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料等を掲載している。	・「基礎編」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「資料編」として、「便箋と封筒の書き方等の書式」等、「文房四宝」、「楷書・行書一覧表」、「平仮名・片仮名・数字・アルファベット」、「毛筆補充教材」、「書き方を学ぼう」一覧等の資料を掲載している。 ・各学年に「学びを広げる」として、「活字と手書き文字・筆順」等(第1学年)、「部分別行書一覧表」(第2学年)、「書の古典」(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料等を掲載している。	・「姿勢と用具の使い方」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片付け」について確かめることができる。 ・「学習内容を効果的にノートに書こう」、「書式の教室」、「書写テストで確認」、「情報を整理して、活動につなげよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「漢字一覧表索引」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を掲載している。 ・第1学年と第2学年に「コラム」として、「筆、墨、硯、紙について知ろう」等(第1学年)、「あの人が残した文字」等(第2学年)、それぞれの学年の学習内容に関連する資料を示している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、「書くときの姿勢」、「筆記具の持ち方」、「用具の準備」、「用具の片付け」、「字形の整え方(筆使い、字形、組み立て、配列、生活に生かす)」について確かめることができる。 ・「手紙の書き方」等、「常用漢字表」、「人名用漢字表」、「部分別行書一覧」、「片仮名・数字・アルファベット」等の資料を掲載している。 ・「書写ブック」として、楷書(「漢字の筆使い」等)、行書(「点画の変化」等)、書写テスト等の硬筆を練習する資料を掲載している。また、各学年に「コラム」として、「文字の歴史を探る」(第1学年)、「物語を千年書き継ぐ」(第2学年)、「UD書体って何だろう」(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料を掲載している。	
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	なし

都立 桜修館中等教育学校 書写 採択資料

	発行者の番号 略 称	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村	
内 容	日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	☆☆	10 ☆	8 ☆☆☆☆	15 ☆	8
	世界の文字・言語を扱っている箇所数	☆☆☆☆	3 ☆	2 ☆	2 ☆☆☆☆	3
	「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆	8 ☆	7 ☆☆☆☆	8 ☆	7
	「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	☆	8 ☆	8 ☆☆☆☆	11 ☆	7
	「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数	☆	4 ☆	3 ☆☆☆☆	7 ☆☆	5
	「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆	3 ☆	2 ☆	2 ☆	2
	「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆	5 ☆	2 ☆	2 ☆☆☆	4
発展的な内容を取り上げている箇所数	☆	1 ☆	2 ☆☆☆☆	5 ☆	1	
構成上の工夫 その他	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・学習の進め方を「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返って話そう」、「生活に広げよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「目標を確かめよう」、「書き方を学ぼう」、「見つけよう・考えよう」、「毛筆で書こう」、「学習を振り返ろう」、「書いて身につけよう」、「自分の言葉でまとめよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。	
		・「小学校の学習を振り返ろう」という内容を設定し、「姿勢と筆記具の持ち方」、「字形と配列を整える書き方」、「基本の点画の書き方」、「自分の書き方を見直そう」について確かめることができる。 ・「書写活用ブック」として、「さまざまな書式」、「行書の部分の形」、「常用漢字表」、「人名用漢字表」等の資料を掲載している。 ・各学年に「文字のいずみ」として、「いろは歌」等(第1学年)、「文字と絵」等(第2学年)、「仕事の中の手書き文字」等(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料等を掲載している。	・「基礎編」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「資料編」として、「便箋と封筒の書き方等の書式」等、「文房四宝」、「楷書・行書一覧表」、「平仮名・片仮名・数字・アルファベット」、「毛筆補充教材」、「書き方を学ぼう」一覧等の資料を掲載している。 ・各学年に「学びを広げる」として、「活字と手書き文字・筆順」等(第1学年)、「部分別行書一覧表」(第2学年)、「書の古典」(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料等を掲載している。	・「姿勢と用具の使い方」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片付け」について確かめることができる。 ・「学習内容を効果的にノートに書こう」、「書式の教室」、「書写テストで確認」、「情報を整理して、活動につなげよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「漢字一覧表索引」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を掲載している。 ・第1学年と第2学年に「コラム」として、「筆、墨、硯、紙について知ろう」等(第1学年)、「あの人が残した文字」等(第2学年)、それぞれの学年の学習内容に関連する資料を示している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、「書くときの姿勢」、「筆記具の持ち方」、「用具の準備」、「用具の片付け」、「字形の整え方(筆使い、字形、組み立て、配列、生活に生かす)」について確かめることができる。 ・「手紙の書き方」等、「常用漢字表」、「人名用漢字表」、「部分別行書一覧」、「片仮名・数字・アルファベット」等の資料を掲載している。 ・「書写ブック」として、楷書(「漢字の筆使い」等)、行書(「点画の変化」等)、書写テスト等の硬筆を練習する資料を掲載している。また、各学年に「コラム」として、「文字の歴史を探る」(第1学年)、「物語を千年書き継ぐ」(第2学年)、「UD書体って何だろう」(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料を掲載している。	
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	なし	

都立 立川国際中等教育学校 書写 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
内 容	日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	☆☆ 10 ☆	8 ☆☆☆☆	15 ☆	8
	世界の文字・言語を扱っている箇所数	☆☆☆☆ 3 ☆	2 ☆	2 ☆☆☆☆	3
	「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆ 8 ☆	7 ☆☆☆☆	8 ☆	7
	「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	☆ 8 ☆	8 ☆☆☆☆	11 ☆	7
	「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数	☆ 4 ☆	3 ☆☆☆☆	7 ☆☆	5
	「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆ 3 ☆	2 ☆	2 ☆	2
	「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆ 5 ☆	2 ☆	2 ☆☆☆	4
発展的な内容を取り上げている箇所数	☆ 1 ☆	2 ☆☆☆☆	5 ☆	1	
構成上の工夫 その他	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・学習の進め方を「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返って話そう」、「生活に広げよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「目標を確かめよう」、「書き方を学ぼう」、「見つけよう・考えよう」、「毛筆で書こう」、「学習を振り返ろう」、「書いて身につけよう」、「自分の言葉でまとめよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。
	・「小学校の学習を振り返ろう」という内容を設定し、「姿勢と筆記具の持ち方」、「字形と配列を整える書き方」、「基本の点画の書き方」、「自分の書き方を見直そう」について確かめることができる。 ・「書写活用ブック」として、「さまざまな書式」、「行書の部分の形」、「常用漢字表」、「人名用漢字表」等の資料を掲載している。 ・各学年に「文字のいずみ」として、「いろは歌」等(第1学年)、「文字と絵」等(第2学年)、「仕事の中の手書き文字」等(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料等を掲載している。	・「基礎編」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「資料編」として、「便箋と封筒の書き方等の書式」等、「文房四宝」、「楷書・行書一覧表」、「平仮名・片仮名・数字・アルファベット」、「毛筆補充教材」、「書き方を学ぼう」一覧等の資料を掲載している。 ・各学年に「学びを広げる」として、「活字と手書き文字・筆順」等(第1学年)、「部分別行書一覧表」(第2学年)、「書の古典」(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料等を掲載している。	・「姿勢と用具の使い方」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片付け」について確かめることができる。 ・「学習内容を効果的にノートに書こう」、「書式の教室」、「書写テストで確認」、「情報を整理して、活動につなげよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「漢字一覧表索引」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を掲載している。 ・第1学年と第2学年に「コラム」として、「筆、墨、硯、紙について知ろう」等(第1学年)、「あの人が残した文字」等(第2学年)、それぞれの学年の学習内容に関連する資料を示している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、「書くときの姿勢」、「筆記具の持ち方」、「用具の準備」、「用具の片付け」、「字形の整え方(筆使い、字形、組み立て、配列、生活に生かす)」について確かめることができる。 ・「手紙の書き方」等、「常用漢字表」、「人名用漢字表」、「部分別行書一覧」、「片仮名・数字・アルファベット」等の資料を掲載している。 ・「書写ブック」として、楷書(「漢字の筆使い」等)、行書(「点画の変化」等)、書写テスト等の硬筆を練習する資料を掲載している。また、各学年に「コラム」として、「文字の歴史を探る」(第1学年)、「物語を千年書き継ぐ」(第2学年)、「UD書体って何だろう」(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料を掲載している。	
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	なし

都立 武蔵高等学校附属中学校 書写 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
	書く文字を生徒が選択する教材数	☆☆☆☆	3 ☆☆☆☆	3 ☆☆☆☆	3 ☆☆☆☆
	世界の文字・言語を扱っている箇所数	☆☆☆☆	3 ☆	2 ☆	2 ☆☆☆☆
	「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆	8 ☆	7 ☆☆☆☆	8 ☆
	「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	☆	8 ☆	8 ☆☆☆☆	11 ☆
	「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数	☆	4 ☆	3 ☆☆☆☆	7 ☆☆
	「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆	3 ☆	2 ☆	2 ☆
	「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆	5 ☆	2 ☆	2 ☆☆☆
	発展的な内容を取り上げている箇所数	☆	1 ☆	2 ☆☆☆☆	5 ☆
構成上の工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・学習の進め方を「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返って話そう」、「生活に広げよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「目標を確かめよう」、「書き方を学ぼう」、「見つけよう・考えよう」、「毛筆で書こう」、「学習を振り返ろう」、「書いて身につけよう」、「自分の言葉でまとめよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。
	その他	・「小学校の学習を振り返ろう」という内容を設定し、「姿勢と筆記具の持ち方」、「字形と配列を整える書き方」、「基本の点画の書き方」、「自分の書き方を見直そう」について確かめることができる。 ・「書写活用ブック」として、「さまざまな書式」、「行書の部分の形」、「常用漢字表」、「人名用漢字表」等の資料を掲載している。 ・各学年に「文字のいずみ」として、「いろは歌」等(第1学年)、「文字と絵」等(第2学年)、「仕事の中の手書き文字」等(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料等を掲載している。	・「基礎編」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「資料編」として、「便箋と封筒の書き方等の書式」等、「文房四宝」、「楷書・行書一覧表」、「平仮名・片仮名・数字・アルファベット」、「毛筆補完教材」、「書き方を学ぼう」一覧等の資料を掲載している。 ・各学年に「学びを広げる」として、「活字と手書き文字・筆順」等(第1学年)、「部分別行書一覧表」(第2学年)、「書の古典」(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料等を掲載している。	・「姿勢と用具の使い方」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片付け」について確かめることができる。 ・「学習内容を効果的にノートに書こう」、「書式の教室」、「書写テストで確認」、「情報を整理して、活動につなげよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「漢字一覧表索引」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を掲載している。 ・第1学年と第2学年に「コラム」として、「筆、墨、硯、紙について知ろう」等(第1学年)、「あの人が残した文字」等(第2学年)、それぞれの学年の学習内容に関連する資料を示している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、「書くときの姿勢」、「筆記具の持ち方」、「用具の準備」、「用具の片付け」、「字形の整え方(筆使い、字形、組み立て、配列、生活に生かす)」について確かめることができる。 ・「手紙の書き方」等、「常用漢字表」、「人名用漢字表」、「部分別行書一覧」、「片仮名・数字・アルファベット」等の資料を掲載している。 ・「書写ブック」として、楷書(「漢字の筆使い」等)、行書(「点画の変化」等)、書写テスト等の硬筆を練習する資料を掲載している。また、各学年に「コラム」として、「文字の歴史を探る」(第1学年)、「物語を千年書き継ぐ」(第2学年)、「UD書体って何だろう」(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料を掲載している。
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	なし

都立 富士高等学校附属中学校 書写 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
内 容	日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	☆☆ 10 ☆	8 ☆☆☆☆	15 ☆	8
	書く文字を生徒が選択する教材数	☆☆☆☆ 3 ☆☆☆☆	3 ☆☆☆☆	3 ☆☆☆☆	3
	「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆ 8 ☆	7 ☆☆☆☆	8 ☆	7
	「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	☆ 8 ☆	8 ☆☆☆☆	11 ☆	7
	「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく書くこと」を取り上げている項目数	☆ 4 ☆	3 ☆☆☆☆	7 ☆☆	5
	「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆ 3 ☆	2 ☆	2 ☆	2
	「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆ 5 ☆	2 ☆	2 ☆☆☆	4
発展的な内容を取り上げている箇所数	☆ 1 ☆	2 ☆☆☆☆	5 ☆	1	
構成上の工夫 その他	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・学習の進め方を「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返って話そう」、「生活に広げよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「目標を確かめよう」、「書き方を学ぼう」、「見つけよう・考えよう」、「毛筆で書こう」、「学習を振り返ろう」、「書いて身につけよう」、「自分の言葉でまとめよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。
		・「小学校の学習を振り返ろう」という内容を設定し、「姿勢と筆記具の持ち方」、「字形と配列を整える書き方」、「基本の点画の書き方」、「自分の書き方を見直そう」について確かめることができる。 ・「書写活用ブック」として、「さまざまな書式」、「行書の部分の形」、「常用漢字表」、「人名用漢字表」等の資料を掲載している。 ・各学年に「文字のいずみ」として、「いろは歌」等(第1学年)、「文字と絵」等(第2学年)、「仕事の中の手書き文字」等(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料等を掲載している。	・「基礎編」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「資料編」として、「便箋と封筒の書き方等の書式」等、「文房四宝」、「楷書・行書一覧表」、「平仮名・片仮名・数字・アルファベット」、「毛筆補充教材」、「書き方を学ぼう」一覧等の資料を掲載している。 ・各学年に「学びを広げる」として、「活字と手書き文字・筆順」等(第1学年)、「部分別行書一覧表」(第2学年)、「書の古典」(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料等を掲載している。	・「姿勢と用具の使い方」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片付け」について確かめることができる。 ・「学習内容を効果的にノートに書こう」、「書式の教室」、「書写テストで確認」、「情報を整理して、活動につなげよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「漢字一覧表索引」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を掲載している。 ・第1学年と第2学年に「コラム」として、「筆、墨、硯、紙について知ろう」等(第1学年)、「あの人が残した文字」等(第2学年)、それぞれの学年の学習内容に関連する資料を示している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、「書くときの姿勢」、「筆記具の持ち方」、「用具の準備」、「用具の片付け」、「字形の整え方(筆使い、字形、組み立て、配列、生活に生かす)」について確かめることができる。 ・「手紙の書き方」等、「常用漢字表」、「人名用漢字表」、「部分別行書一覧」、「片仮名・数字・アルファベット」等の資料を掲載している。 ・「書写ブック」として、楷書(「漢字の筆使い」等)、行書(「点画の変化」等)、書写テスト等の硬筆を練習する資料を掲載している。また、各学年に「コラム」として、「文字の歴史を探る」(第1学年)、「物語を千年書き継ぐ」(第2学年)、「UD書体って何だろう」(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料を掲載している。
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	なし

都立 大泉高等学校附属中学校 書写 採択資料

発行者の番号 略 称		2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
内 容	日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	☆☆ 10 ☆	8 ☆☆☆☆	15 ☆	8
	世界の文字・言語を扱っている箇所数	☆☆☆☆ 3 ☆	2 ☆	2 ☆☆☆☆	3
	「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆ 8 ☆	7 ☆☆☆☆	8 ☆	7
	「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	☆ 8 ☆	8 ☆☆☆☆	11 ☆	7
	「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数	☆ 4 ☆	3 ☆☆☆☆	7 ☆☆	5
	「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆ 3 ☆	2 ☆	2 ☆	2
	「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆ 5 ☆	2 ☆	2 ☆☆☆	4
発展的な内容を取り上げている箇所数	☆ 1 ☆	2 ☆☆☆☆	5 ☆	1	
構成上の工夫 その他	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・学習の進め方を「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返って話そう」、「生活に広げよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「目標を確かめよう」、「書き方を学ぼう」、「見つけよう・考えよう」、「毛筆で書こう」、「学習を振り返ろう」、「書いて身につけよう」、「自分の言葉でまとめよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。
		・「小学校の学習を振り返ろう」という内容を設定し、「姿勢と筆記具の持ち方」、「字形と配列を整える書き方」、「基本の点画の書き方」、「自分の書き方を見直そう」について確かめることができる。 ・「書写活用ブック」として、「さまざまな書式」、「行書の部分の形」、「常用漢字表」、「人名用漢字表」等の資料を掲載している。 ・各学年に「文字のいずみ」として、「いろは歌」等(第1学年)、「文字と絵」等(第2学年)、「仕事の中の手書き文字」等(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料等を掲載している。	・「基礎編」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「資料編」として、「便箋と封筒の書き方等の書式」等、「文房四宝」、「楷書・行書一覧表」、「平仮名・片仮名・数字・アルファベット」、「毛筆補充教材」、「書き方を学ぼう」一覧等の資料を掲載している。 ・各学年に「学びを広げる」として、「活字と手書き文字・筆順」等(第1学年)、「部分別行書一覧表」(第2学年)、「書の古典」(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料等を掲載している。	・「姿勢と用具の使い方」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片付け」について確かめることができる。 ・「学習内容を効果的にノートに書こう」、「書式の教室」、「書写テストで確認」、「情報を整理して、活動につなげよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「漢字一覧表索引」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を掲載している。 ・第1学年と第2学年に「コラム」として、「筆、墨、硯、紙について知ろう」等(第1学年)、「あの人が残した文字」等(第2学年)、それぞれの学年の学習内容に関連する資料を示している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、「書くときの姿勢」、「筆記具の持ち方」、「用具の準備」、「用具の片付け」、「字形の整え方(筆使い、字形、組み立て、配列、生活に生かす)」について確かめることができる。 ・「手紙の書き方」等、「常用漢字表」、「人名用漢字表」、「部分別行書一覧」、「片仮名・数字・アルファベット」等の資料を掲載している。 ・「書写ブック」として、楷書(「漢字の筆使い」等)、行書(「点画の変化」等)、書写テスト等の硬筆を練習する資料を掲載している。また、各学年に「コラム」として、「文字の歴史を探る」(第1学年)、「物語を千年書き継ぐ」(第2学年)、「UD書体って何だろう」(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料を掲載している。
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	なし

都立 南多摩中等教育学校 書写 採択資料

	発行者の番号 略 称	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村
	書く文字を生徒が選択する教材数	☆☆☆☆	3 ☆☆☆☆	3 ☆☆☆☆	3 ☆☆☆☆
	世界の文字・言語を扱っている箇所数	☆☆☆☆	3 ☆	2 ☆	2 ☆☆☆☆
	「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆	8 ☆	7 ☆☆☆☆	8 ☆
	「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	☆	8 ☆	8 ☆☆☆☆	11 ☆
	「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数	☆	4 ☆	3 ☆☆☆☆	7 ☆☆
	「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆	3 ☆	2 ☆	2 ☆
	「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆	5 ☆	2 ☆	2 ☆☆☆
	発展的な内容を取り上げている箇所数	☆	1 ☆	2 ☆☆☆☆	5 ☆
	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・学習の進め方を「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返って話そう」、「生活に広げよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「目標を確かめよう」、「書き方を学ぼう」、「見つけよう・考えよう」、「毛筆で書こう」、「学習を振り返ろう」、「書いて身につけよう」、「自分の言葉でまとめよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。
構成上の工夫 その他	・「小学校の学習を振り返ろう」という内容を設定し、「姿勢と筆記具の持ち方」、「字形と配列を整える書き方」、「基本の点画の書き方」、「自分の書き方を見直そう」について確かめることができる。 ・「書写活用ブック」として、「さまざまな書式」、「行書の部分の形」、「常用漢字表」、「人名用漢字表」等の資料を掲載している。 ・各学年に「文字のいずみ」として、「いろは歌」等(第1学年)、「文字と絵」等(第2学年)、「仕事の中の手書き文字」等(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料等を掲載している。	・「基礎編」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「資料編」として、「便箋と封筒の書き方等の書式」等、「文房四宝」、「楷書・行書一覧表」、「平仮名・片仮名・数字・アルファベット」、「毛筆補充教材」、「書き方を学ぼう」一覧等の資料を掲載している。 ・各学年に「学びを広げる」として、「活字と手書き文字・筆順」等(第1学年)、「部分別行書一覧表」(第2学年)、「書の古典」(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料等を掲載している。	・「姿勢と用具の使い方」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片付け」について確かめることができる。 ・「学習内容を効果的にノートに書こう」、「書式の教室」、「書写テストで確認」、「情報を整理して、活動につなげよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「漢字一覧表索引」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を掲載している。 ・第1学年と第2学年に「コラム」として、「筆、墨、硯、紙について知ろう」等(第1学年)、「あの人が残した文字」等(第2学年)、それぞれの学年の学習内容に関連する資料を示している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、「書くときの姿勢」、「筆記具の持ち方」、「用具の準備」、「用具の片付け」、「字形の整え方(筆使い、字形、組み立て、配列、生活に生かす)」について確かめることができる。 ・「手紙の書き方」等、「常用漢字表」、「人名用漢字表」、「部分別行書一覧」、「片仮名・数字・アルファベット」等の資料を掲載している。 ・「書写ブック」として、楷書(「漢字の筆使い」等)、行書(「点画の変化」等)、書写テスト等の硬筆を練習する資料を掲載している。また、各学年に「コラム」として、「文字の歴史を探る」(第1学年)、「物語を千年書き継ぐ」(第2学年)、「UD書体って何だろう」(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料を掲載している。	
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	なし

都立 三鷹中等教育学校 書写 採択資料

	発行者の番号 略 称	2 東書	15 三省堂	17 教出	38 光村	
内 容	日本の文化・伝統である古典を活用している教材数	☆☆	10 ☆	8 ☆☆☆☆	15 ☆	8
	書く文字を生徒が選択する教材数	☆☆☆☆	3 ☆☆☆☆	3 ☆☆☆☆	3 ☆☆☆☆	3
	「字形を整え、文字の大きさ、配列などについて理解して、楷書で書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆	8 ☆	7 ☆☆☆☆	8 ☆	7
	「漢字の行書の基礎的な書き方を理解して、身近な文字を行書で書くこと」を取り上げている項目数	☆	8 ☆	8 ☆☆☆☆	11 ☆	7
	「漢字の行書とそれに調和した仮名の書き方を理解して、読みやすく速く書くこと」を取り上げている項目数	☆	4 ☆	3 ☆☆☆☆	7 ☆☆	5
	「目的や必要に応じて、楷書又は行書を選んで書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆	3 ☆	2 ☆	2 ☆	2
	「身の回りの多様な表現を通して文字文化の豊かさに触れ、効果的に文字を書くこと」を取り上げている項目数	☆☆☆☆	5 ☆	2 ☆	2 ☆☆☆	4
発展的な内容を取り上げている箇所数	☆	1 ☆	2 ☆☆☆☆	5 ☆	1	
構成上の工夫	「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた工夫	・学習の進め方を「目標」、「見つけよう」、「確かめよう」、「生かそう」、「振り返って話そう」、「生活に広げよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「目標を確かめよう」、「書き方を学ぼう」、「見つけよう・考えよう」、「毛筆で書こう」、「学習を振り返ろう」、「書いて身につけよう」、「自分の言葉でまとめよう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「目標」、「考えよう」、「生かそう」、「振り返ろう」とし、具体的な学び方を示している。	・学習の進め方を「考えよう」、「確かめよう」、「生かそう」とし、具体的な学び方を示している。	
	その他	・「小学校の学習を振り返ろう」という内容を設定し、「姿勢と筆記具の持ち方」、「字形と配列を整える書き方」、「基本の点画の書き方」、「自分の書き方を見直そう」について確かめることができる。 ・「書写活用ブック」として、「さまざまな書式」、「行書の部分の形」、「常用漢字表」、「人名用漢字表」等の資料を掲載している。 ・各学年に「文字のいずみ」として、「いろは歌」等(第1学年)、「文字と絵」等(第2学年)、「仕事の中の手書き文字」等(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料等を掲載している。	・「基礎編」という内容を設定し、毛筆の「姿勢と構え方」、「大筆の持ち方／小筆の持ち方・構え方」、「筆の運び方」、「用具の扱い方」、硬筆の「姿勢と構え方／鉛筆の持ち方」について確かめることができる。 ・「資料編」として、「便箋と封筒の書き方等の書式」等、「文房四宝」、「楷書・行書一覧表」、「平仮名・片仮名・数字・アルファベット」、「毛筆補充教材」、「書き方を学ぼう」一覧等の資料を掲載している。 ・各学年に「学びを広げる」として、「活字と手書き文字・筆順」等(第1学年)、「部分別行書一覧表」(第2学年)、「書の古典」(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料等を掲載している。	・「姿勢と用具の使い方」という内容を設定し、「基本の姿勢」、「用具の置き方」、「毛筆の持ち方」、「硬筆の持ち方」、「墨のすり方」、「後片付け」について確かめることができる。 ・「学習内容を効果的にノートに書こう」、「書式の教室」、「書写テストで確認」、「情報を整理して、活動につなげよう」、「小学校で学習した漢字一覧表」、「中学校で学習する漢字一覧表」、「漢字一覧表索引」、「補充教材集」、「芸術としての書道」という資料を掲載している。 ・第1学年と第2学年に「コラム」として、「筆、墨、硯、紙について知ろう」等(第1学年)、「あの人が残した文字」等(第2学年)、それぞれの学年の学習内容に関連する資料を示している。	・「学習のはじめに」という内容を設定し、「書くときの姿勢」、「筆記具の持ち方」、「用具の準備」、「用具の片付け」、「字形の整え方(筆使い、字形、組み立て、配列、生活に生かす)」について確かめることができる。 ・「手紙の書き方」等、「常用漢字表」、「人名用漢字表」、「部分別行書一覧」、「片仮名・数字・アルファベット」等の資料を掲載している。 ・「書写ブック」として、楷書(「漢字の筆使い」等)、行書(「点画の変化」等)、書写テスト等の硬筆を練習する資料を掲載している。また、各学年に「コラム」として、「文字の歴史を探る」(第1学年)、「物語を千年書き継ぐ」(第2学年)、「UD書体って何だろう」(第3学年)と、それぞれの学年の学習内容に関連する資料を掲載している。	
参考	防災や自然災害の扱い	あり	あり	なし	なし	

